



今回は、SGH 高大連携事業・富山大学都市デザイン学部出前授業の報告です。

◇ SGH高大連携事業 本校卒業生の松田健二先生（富山大学）の講義です！

日時： 平成30年10月19日（火）15：00～16：20

参加者： 3年生理系生徒全員

講師： 松田健二教授 富山大学都市デザイン学部材料デザイン工学科

SGH 高大連携事業の一環として、本校の卒業生でもあられます松田健二先生に、3年生理系の「化学」の時間を使って、「軽くて強い！アルミニウム素材」というテーマで授業をしていただきました。

松田先生は本校在学中に、恩師の影響で金属に関心を持ったのが材料工学を志したきっかけだそうです。高分解能透過型電子顕微鏡を駆使し、アルミニウム合金、銅合金、マグネシウム合金および軽金属基複合材料中に現れるナノサイズの各種析出物の組織観察と構造解析を行っていらっしゃるとのことでした。先生の研究成果は、たとえば新幹線の車両胴体の素材としていかされているとのこと。ずっしりと重いサンプルを持っていただきました。普段の授業で習っていることが、研究の最先端の現場で、どのように活かされているかを知ることができて生徒は大変満足そうでした。また、化学系学部に進学したいと考えている生徒も多くいるため、進路選択の参考になったとのことでした。

先生は、富山大学の国際交流委員長としてもご活躍中で、中国の山東大学客員教授・博士課程指導教授を兼務されています。SGH 関高生としては目標となる大先輩です。気さくなお人柄で、高校時代のサッカー部のお話などもしてくださいました。

